

つながるサロン 勉強会



令和6年9月30日(月)

豊島区防災危機管理課

地震・火災等が 発生した際の対応

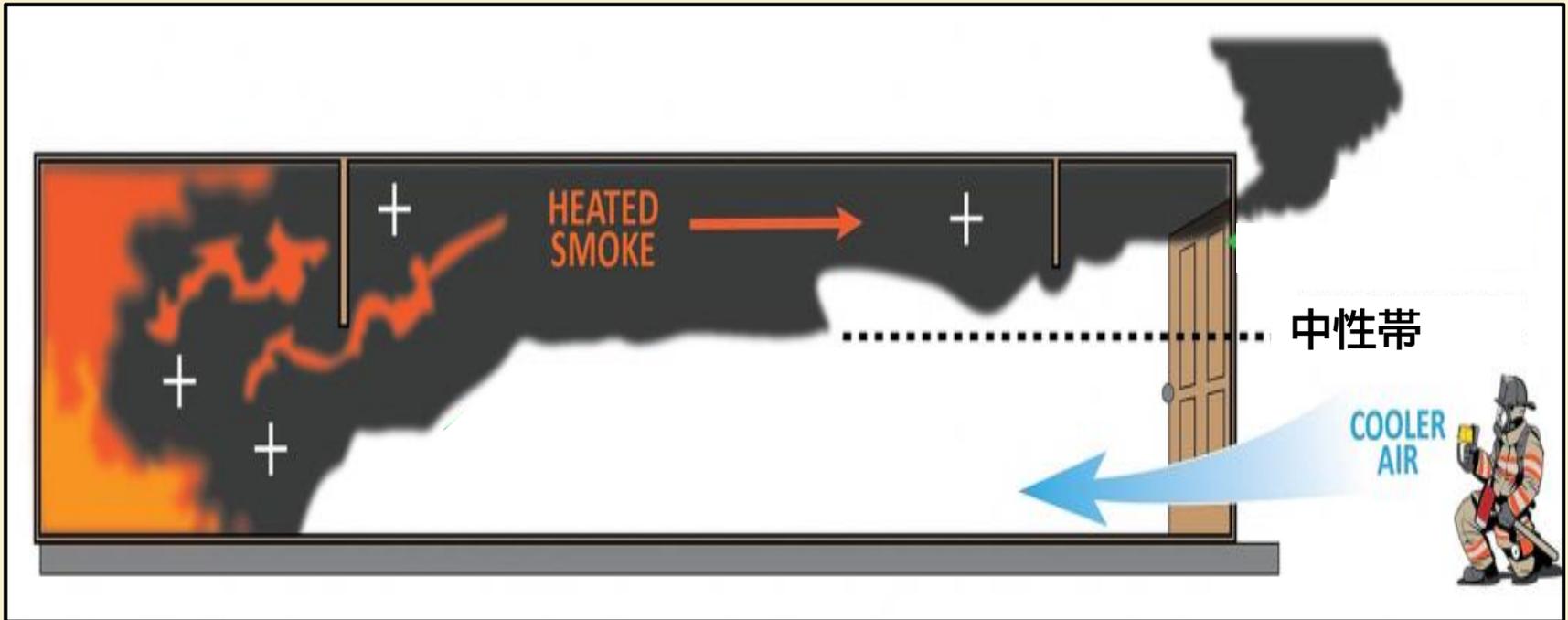
まず行うこと

- **身の安全の確保**
- **利用者保護の実施**
(利用者の安否確認など)

火災発生時の 避難について

【火災時の避難】

【火災時の煙の動き】



※令和消防クラブホームページより引用

【火災時の避難】



※八尾市ホームページより引用

【火災時の避難】



避難口誘導灯



通路誘導灯

【火災発生時の行動】

火災発生！



周囲の人に知らせる「**火事だー！**」



火が天井の高さまで来たら
初期消火困難…
迷わず逃げる！！

初期消火



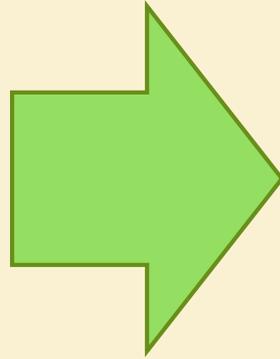
・ **119番通報**をする



地震発生時の 避難について

【地震発生時に最初にする事】

地震、火を消せ



地震が来たら、
身の安全



- ・耐火造の建物が増加
- ・火気設備器具の安全性能が向上
- ・マイコンメーターが地震（震度5強以上の揺れ）を感知し、ガス供給をストップ

【大地震発生時の行動】

地震発生！

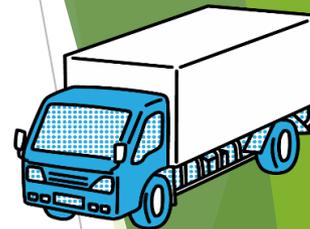
身の安全！



①

避難行動開始

地域防災組織で集合
相互で**安否確認**



物資搬送

②

自宅が大丈夫なら
在宅避難へ

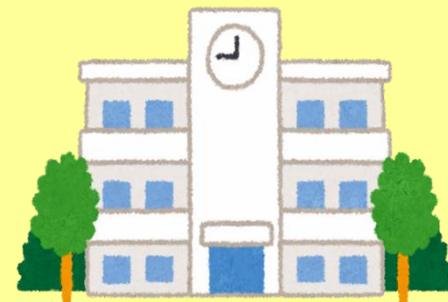


一時集合場所

③

自宅が**倒壊危険**
自宅にいるのが**不安**

物資の提供・防災設備の利用



救援センター

確認しておくべきこと

- **避難経路**
- **近隣の公園の場所**
- **広域避難場所**
- **近隣の救援センター**



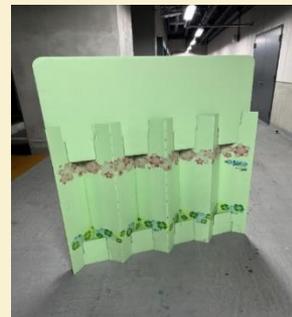
救援センターについて

- ⇒ 災害が発生した場合における**周辺住民の防災拠点（区内35か所）**
- ⇒ 避難した住民等を**災害の危険がなくなるまで滞在させる**、または災害により家に戻れなくなった住民等を**一時的に滞在させる**ための施設
- ⇒ 震度5強以上で自動開設

【救援センターの機能】

① 避難所としての機能

⇒ 避難してきた被災者に
居住スペースの提供



段ボール間仕切り



段ボールベッド

② 防災拠点としての機能

⇒ **備蓄食料等**の提供
防災設備(**マンホールトイレ**
応急給水栓)運用など



備蓄食料



マンホールトイレ

緊急医療救護所

発災後に負傷者が殺到することを想定し、病院の近くに緊急医療救護所設置。

No.	病 院 名	緊急医療救護所
1	都立大塚病院(災害拠点病院)	病院内敷地
2	一心病院	巣鴨公園
3	池袋病院	東池袋公園
4・5	大同病院・高田馬場病院	高田第三公園
6	原整形外科病院	病院駐輪場
7	長汐病院	長汐病院検診センター
8	池袋西口病院(旧平塚胃腸病院)	西池袋公園
9	としま昭和病院	病院裏
10.11	要町病院・副都心病院	要町病院内敷地
12	関野病院	病院内敷地
13	岡本病院	大塚台公園

緊急医療救護所と医療救護所

	緊急医療救護所	救援センター医療救護所 (避難所医療救護所)
設置目的	病院前トリアージを実施して、中等症者に対する災害拠点連携病院の診療機能を維持・確保	地域医療が回復するまでの臨時的な医療機能の提供 避難生活の長期化による被災者の健康管理
設置場所	区内病院の近接地内 (現在11か所)	地域本部の置かれる救援センター (12か所)
機能 ・役割	<ul style="list-style-type: none">・トリアージ・軽症者に対する処置・必要に応じて中等症者、重傷者に対する搬送及び搬送までの応急処置・発災後3日間立ち上がる	<ul style="list-style-type: none">・軽症者(慢性疾患等を含む)に対する治療・避難者等に対する健康相談・(トリアージ)・(中等症者、重傷者に対する搬送までの応急処置)

豊島区の被害想定

【被害想定と比較】

		平成24年4月公表 被害想定	令和4年5月公表 被害想定	増減	
建物全壊数	建物全壊数	1,679棟	816棟	▲863棟	
	火災	出火件数	8件	8件	0件
		焼失棟数(倒壊建物を含む)	1,355棟	745棟	▲610棟
		焼失棟数(倒壊建物を含まず)	1,315棟	733棟	▲582棟
ライフライン	電力(停電率)	10.0%	6.5%	▲3.5%	
	通信(固定電話不通率)	2.4%	1.6%	▲0.8%	
	ガス(供給停止率)	0.2%	0.0%	▲0.2%	
	上水道(断水率)	23.9%	21.6%	▲2.3%	
	下水道(下水道管きよ被害率)	24.7%	3.4%	▲21.3%	
閉じ込めにつながり得るエレベーター停止台数		183台	647台	464台	

事前の備え

【事前の備え】

- 水と食料
 - ⇒ 概ね**3日分**備蓄
- ライフライン系
 - ⇒ **モバイルバッテリー**
 - ⇒ **トイレ袋**
- その他
 - ⇒ **衛生用品、感染症対策用品**

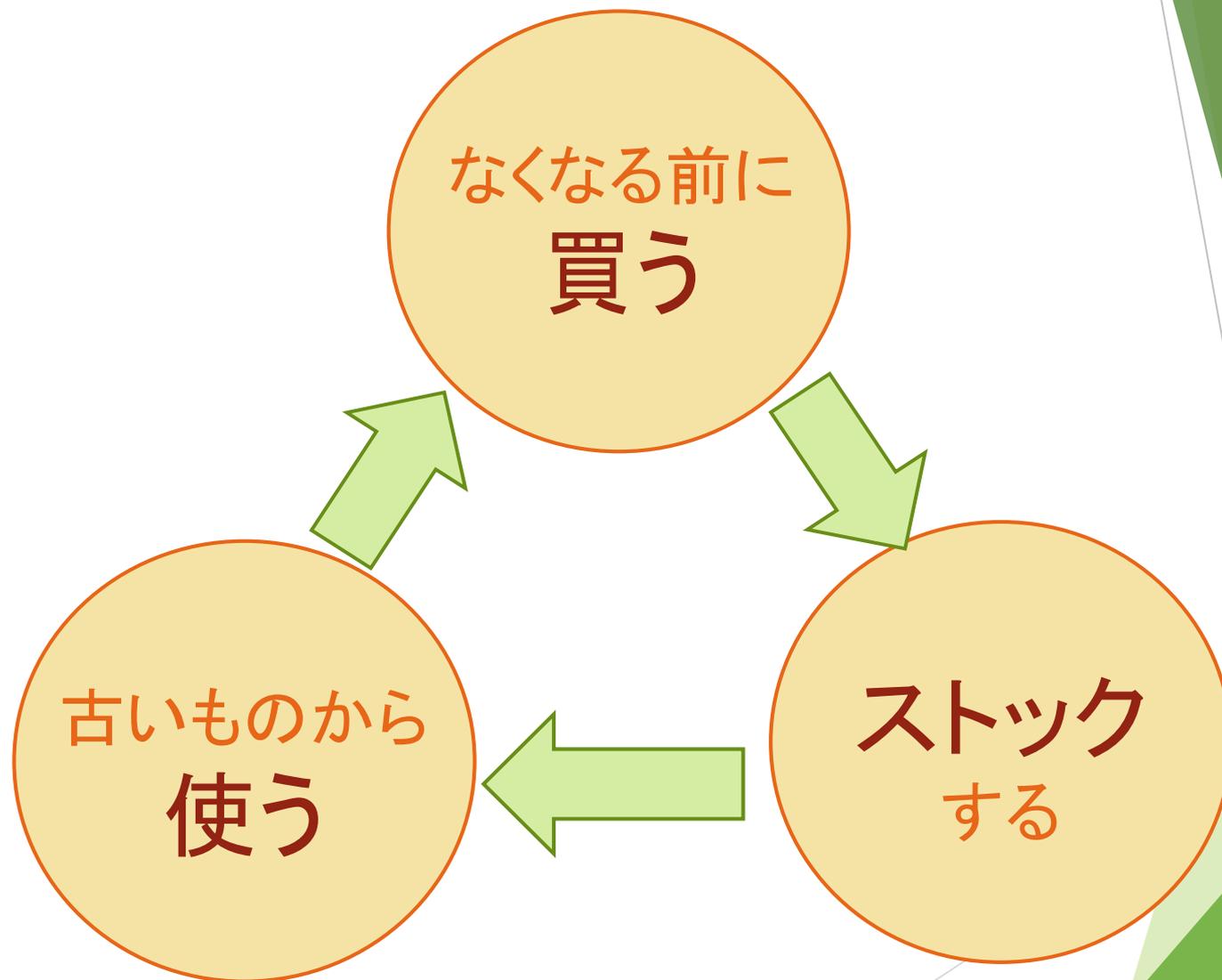
【避難所の備蓄品（お菓子）】



【避難所の備蓄品（ごはん）】



日常備蓄について



《トイレ袋の使用》

- ・断水時のトイレ対策
- ・水がなくても使用可

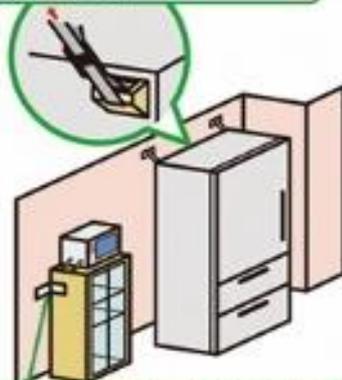
【トイレ袋の使用方法】



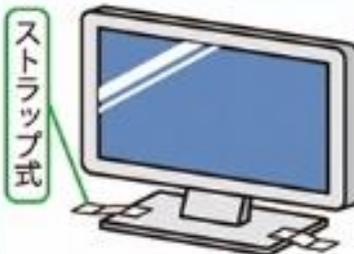
【長周期地震動のための対策】

【家具類の転倒・落下防止対策の例】

ベルト式
冷蔵庫は壁にベルトで
固定する。



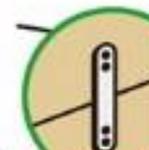
粘着マットやベルトなどで
電子レンジを固定すると
ともに、台も壁に固定する。



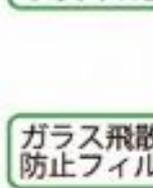
ストラップ式

つっぱり棒(ポール)

L型金具
壁に強度が足りない
場合は、あて板
をつけネジが抜け
ないようにする。



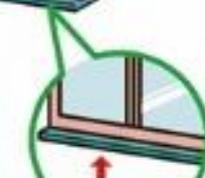
連結金具
上下に分かれてい
る家具は連結する。



ガラス飛散
防止フィルム



扉開放防止器具



ストッパー式
つっぱり棒を使用す
るときに併用する。

※家具転倒防止器具は、ホームセンターや量販店などで販売しています。
※壁にキズをつけずに、取り付けられる器具もあります。

【家具転対策の効果】



おつかれさま
でした！

